

TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会

会報

第5号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

電話(代) 022-233-3111

FAX(代) 022-233-3113

体育会創立30周年 記念式典を開催

日本国内はもとより今や、海外でも活躍している東北福祉大学体育会出身者。その体育会が今年で創立三十周年を迎え十二月十四日、記念式典を本学音楽堂「けやきホール」で盛大に催した。一部で式典、二部では各競技で活躍する卒業生と現役学生を交えたスポーツトークが繰り広げられた。夕方からニューワールドホテルに場所を移して祝賀会が行われ、卒業生、現役学生を交え親睦の輪が広がった。翌十五日には本学の室内練習場で大リーグ、シアトルマリナーズの佐々木主浩投手をはじめ現役プロ野球選手十一人による野球教室が開かれ、子どもたちを大いに喜ばした。

たゆまぬ努力の成果

創立三十年の重みにふさわしく盛大かつ華やかな式典となった。駆け付けた体育会所属の卒業生百五十一人に現役生、教職員を含む約九百人がホールを埋め尽くした。

司会を務めるのはソウル、バルセロナ両五輪に出場し、女子バレーボール界にこの人ありと言われた本学の佐藤伊知子助教授。式典は佐藤助教授の合図で全員が起立し、物故者への一分間黙とうで始まった。

あいさつに立つた体育会名誉顧問の萩野浩基学長は「建学の精神である、行学一如」をみんなが実践してきたことで今日の繁栄がある。今日あるのは体育会諸君のたゆまぬ努力のおかげだと思っている」と賛辞を送った。

続いて体育会第七代の高橋俊郎現会長が「三十年前は今いるこのホールに体育館があった。狭くて各部はスケジュールを組んで練習した。ここが体育会発祥の場所というのを覚えておいてほしい」と往時をしのんだ。



式典であいさつに立つ萩野浩基学長

榮渡辺信英、大和田直樹、坂本孝温、菅本昭夫の五氏に萩野学長から賞状が手渡された。

さらに体育会会長賞には六月の全日本大学対抗戦でアベック優勝を飾った男女ゴルフ部、十一月に全日本学生女子王座に就いた弓道部、個人で日本学生選手権三連覇

を達成したゴルフ部の宮里優作主将、それと各部の部長から推薦を受けた各界で活躍する卒業生百六十三人が選ばれ、初代体育会幹事長の牛山俊夫氏が代表して受賞し、盛んな拍手が送られた。

第二部では仙台放送の柳沢剛アナウンサーと、硬式野球部OB、元西武ライオンズの大家光二両氏が司会を務め「将来の学生スポーツを語る」と題するスポーツトークが行われた。

体育会創立以来、運営費を支援し続けた後援会を代表して、光永輝彦副会長が「一人ひとり体育会にかかわってきた思い、志があつて素晴らしい三十年が創られたのだと思う。卒業生の多方面での活躍は後援会としてもうれしい限り」と祝辞を述べた。

表彰では体育会の初代会長を務めた細井計教授と高橋現会長、創立時からの指導功績者として大竹



現役とOB10人がトーク

体育会は永遠に不滅なり

人が体験談を話し、場内を魅了した。陸上部一年の高橋早希さんは「パネリストたちは」スポーツをするこゝろによって充実した人生が送れているような気がした」と感心すれば、スキー部で昭和六十二年度卒の高橋泰徳さんは「この式典が四十年、五十年と続くことを望みたい」と満喫した様子。卒業生も現役生もこの日の思いは一つだった。その心は「東北福祉大学体育会は永遠に不滅なり」に集約されていた。

祝賀会に300人出席

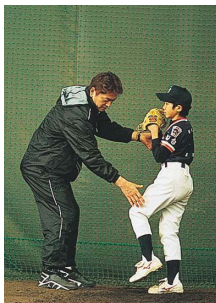
夕方からはニューワールドホテルで祝賀会が行われた。25団体から卒業生百八十一人、各部の部長、監督、現役学生を交え約三百人が出席。萩野学長が「記念すべき一日になった」とあいさつした後、渡辺学部長が「スポーツを通じて先輩を敬い、後輩を導く努力をする。だから、スポーツをする人間を社会は受け入れるのだ」と述べた。



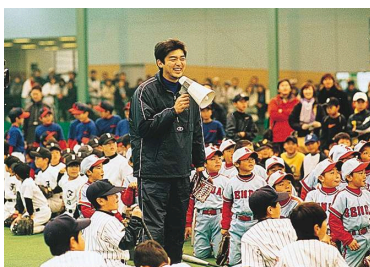
乾杯の音頭を取る牛山初代幹事長

野球教室に現役プロ11人参加

本学出身のプロ野球選手による「野球教室」に少年たちが大喜びした。十五日午前十一時から約二時間、本学室内練習場で仙台市近郊のリトルリーグ所属の10チームから選手百八十人、保護者を含め約三百二十人が参加して行われた。指導するのは横浜の斎藤隆投手をはじめマリナーズの佐々木主浩投手ら現役プロ野球選手十一人。キャッチボールからトス打撃、ポジション別守備に至るまで手取り



佐々木投手も熱心指導



マイクを持つ斎藤隆投手

足取りの熱烈指導になった。「ボールは体の正面で捕ると次の投球動作に生きる」など丁寧に教えた。佐々木投手のキャッチボール相手を募ると「ハイ！」と元気な声が響き渡った。今回の教室は大塚光二さんが呼びかけて実現した。八月に亡くな

| 卒業年度 | 参加したOB選手 | 所属 |
|------|----------|-------|
| 平成元年 | 佐々木主浩 | マリナーズ |
| 3年 | 斎藤隆 | 横濱 |
| 3年 | 濱名千広 | ヤクルト |
| 8年 | 小野公誠 | ヤクルト |
| 9年 | 鈴木郁洋 | 中日 |
| 10年 | 柴田博之 | 西武 |
| 12年 | 吉見祐治 | 横浜 |
| 12年 | 洗平竜也 | 中日 |
| 13年 | 石原慶幸 | 広島 |
| 13年 | 大須賀允 | 巨人 |
| 13年 | 熊谷博 | 楽天 |

息を楽しんでいた。佐々木投手も「子どもたちに夢を与えられれば」とつかの間の休息を楽しんでいた。

宮里優作さんらから提供された特別グッズに計十万一千五百円が寄せられた。

福祉大という肩書

「福祉大の佐々木だ」。十一月三十日の午後五時、仙台市青葉区一番町商店街に新設されたばかりのコーヒー店前に人だかりができた。事情を知る者は前列で、知らない者はその後ろから店内をのぞく格好であった。ちょうど真ん中にいた私は、前後左右の群衆の会話がいやおうなく耳に入ってきた。「何かあるの?」「だれがいるの?」「口々に漏れる疑問に、だれからもなく「福祉大から外国に行った佐々木だ」と「福祉大の大魔神・佐々木だ」と伝わるのであった。佐々木投手を紹介する際、真っ先に「福祉大」という肩書から始まる事実。本学に身を置く人間にとつてうれしい半面、あらためて驚かされた。それも十代の若者から、敬老会の催しの帰り道らしい八十代と見受けられるお年寄りグループまで、老若男女を問わず、会話が福祉大という肩書が付けられていた。これって、ひょっとして、とつてもないことではないか、と思った。彼は平成元年度に本学を卒業した紛れもない卒業生である。ドラフト1位で大洋(現横浜ベイスターズ)に入団し、九八年に日本一に輝いた。この時、宮城県第一号県民栄誉賞を受賞。今年で大リーグ挑戦三年目を終え、名声は海外にまでとどろいている。▼なのに「福祉大の佐々木」という紹介は、本学がいかに人々の胸の中、頭の中に入り込んでいるかの証明であろう。改めて「福祉大が人材を育てるところ」というイメージの意義をかみしめた。福祉をはじめあらゆる分野で活躍する人材が育つよう、本学に籍を置く者すべてが肝に銘じたいものである。(国見 太郎)

昭和51年 (1976年) 当時

大学院社会福祉学 研究科が誕生

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、今日まで卒業生の数は約二万七千人に達した。二十一世紀を迎え、ここに大学の時々を振り返る。第5回は大学院社会福祉学研究科の修士課程が誕生した一九七六年(昭和五十一年)。

26年目で博士課程

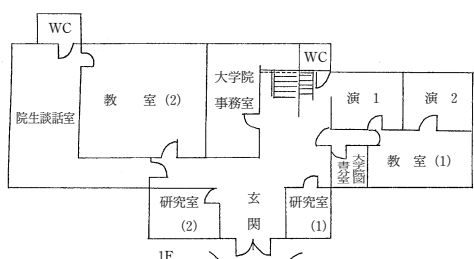
大学院設置の下地は十分に整った。社会福祉学部は統々と新学科が加わり、一九七四年(昭和四十九年)の福祉心理学誕生時には社会福祉、産業福祉、社会教育学科に次いで一学部4学科になった。各学科の定員増もあり、学生数は三、七八八人を数えた(七十六年五月一日現在)。



当時の大学院棟

今昔も

一日、大学院設置認可申請書を文部大臣・永井道雄氏に提出。大学院設立の目的は「社会福祉に関する精深な学術の理論及び応用を研究教授し、その深奥を究めて、文化の進展と人類の福祉に寄与しうる人材を養成すること」であった。



1Fの見取図

七六年から足掛け二十六年、教育環境は確実に進化を遂げている。に改まった。〇二年には東北初の通信教育となる通信教育部と通信制大学院が発足。また従来の大学院に博士課程が設置され、修士課程では福祉心理学専攻の新設、社会福祉学専攻の定員増があり、名称も総合福祉学研究科に改められた。

介護福祉士養成課程を設置

介護福祉士養成課程の平成十五年四月開設を目指していた本学に厚生労働省から十二月二十日認可内示の通知が届いた。

昨年三月に介護福祉士養成施設等設置計画書を提出。六月のヒアリング、九月の指定申請書提出、十一月の実地調査を経て、受理されたもの。

第二回感性福祉学会が開かれる

一昨年五月に設立した本学感性福祉学会の第二回学会が昨年十一月十五、十六の両日、本学音楽堂「けやきホール」を主会場に催された。人間が生き生きと生きるためのキーワードである「感性」と、「地域」における福祉の問題に焦点を当てた二大シンポジウムを中心に行われた。



熱声を振るう大橋客員教授

通信教育部十月生入学式

東北福祉大学通信教育部十月生の入学式が十一月二十四日、マルチメディア教室で行われ、正科生、科目等履修生合わせて登録者約三百人のうち六十四人が参加した。

北は北海道、南は大阪から駆け付け平均年齢は四月生の三十七歳より三歳若く、女性が七割を占めた。大学院研究科の佐藤俊昭科長が「四月生を見てみると、さまざまな年齢、職業の方がいて、教室がダイナミックになっている。通信教育の導入によって融合の中から今日の閉そく社会を打ち破るものが生まれるのではないかと歓迎のあいさつをした。

社士養成課程が加わることで、実践面でのさらなる飛躍が見込まれる。かねてより現場サイドから寄せられていた要請でもあり、学生の資格取得希望とも合致したものである。

同養成課程は社会福祉学科社会福祉コースに設けられ、社会福祉士の受験資格と同時に取得できるようカリキュラムが編成される予定。

が新入生代表のこぼれを述べる。四月生の荒海忠彦さんがアドバイスを送った。①決してあきらめない。②仲間をつくる。③成績に固執しない。③の3点新入生は神妙な面持ちで聞いていた。

入試情報

大学 総合福祉学研究所(博士・修士課程)
通信制大学院 総合福祉学研究所(修士課程)
通信教育部 社会福祉学・社会教育学科・福祉心理学
総合福祉学部 社会福祉学(350名)
産業福祉学(100名)
社会教育学科(150名)
福祉心理学(100名)
情報福祉学(100名)

平成15年度一般選抜(A日程・B日程入試) 試験日程等

Table with columns: 区分, 学 科, 出願期間, 試験日, 試験会場, 合格発表日, 試験科目. It details the exam schedule for both A and B tracks, including subjects like Japanese, English, and Mathematics.

※ B 日程は試験終了後に面接を実施します。なお AO 入試、特別選抜入試は前年に終了しました。

平成15年度大学院今後の入学試験日程

II 期選考(問い合わせ先は通学制=022-717-3315, 通信制は上記左にあり)

Table with columns: [修士課程], 出 願 期 間, 選 考 日, 合格発表日. It lists the application and exam dates for graduate programs.

Contact information for the Department of Distance Education, including phone numbers (022-233-2211), fax (022-233-2212), and website (http://www.tfu.ac.jp).

頑張ってます

目標はタイガー・ウッズ ゴルフ部宮里優作君がプロ表明

ゴルフ界のアマチュアNo.1選手である社会福祉学科四年の宮里優作君が十二月二十六日、管理事務棟四階の大会議室で、来年からプロゴルファーとして活動する意向を表明した。ゴルフ部の大竹榮部長、阿部靖彦監督、宮里君の父親・優さんが同席。NHKをはじめ全国の放送、新聞社から集まった約三十人の報道陣を前に「目標は

タイガー・ウッズ」と堂々と宣言。後輩へは「互いに刺激し合っていくこと」とアドバイスを送った。宮里君は本学出身プロゴルファーとしては八人目で、今年から本学のコーチも務める。関係者からは「十年に一人の逸材」と期待されており、いざいざゴルフの祭典と言われる米国のマスターズトーナメントで活躍する日も近い?



握手する宮里君(左から2人目)

弓道部女子が日本一の金的

お見事！弓道部女子が優勝という金的を射止めた。第二十六回全日本学生弓道女子王座決定戦が十一月二十三、二十四の両日、三重・伊勢神宮弓道場で行われ、本学が四年ぶり二度目の優勝を飾った。

全国各地から秋期リーグを制した十大学が集い、トーナメント方式で行われる決定戦。初戦で札幌学院大を下し、準決勝で優勝候補の近畿大と対戦。辛くも逃げ切った。決勝の相手は北信越代表の信州大。優勝候補を破った本学は余勢を駆って30-25で下し、一気に頂点に駆け上がった。

大前(一番手)に石井淑(社福二年)、中(二番手)に渡邊淳子(情福二年)、落(三番手)に松井祐子(社福一年)の三人立ち。控えに氏家照美主将、佐々木みき(ともに社



金的を射止めた選手

明治神宮大会

硬式野球部

第三十三回明治神宮野球大会が十一月十五日から四日間、東京・神宮球場で行われ、七年連続18度目の出場を飾った本学(北海道・東北五連盟代表)は四年ぶり三度目の決勝戦に進出。準決勝でプロ注目目の和田投手を擁する早稲田大学(東京六大学)を攻略する快進撃を見せ、迎えた決勝戦。相手は六月の大学選手権で敗れた亜細亜大学(東都大学)だ。

今大会初めて先制を許したが、あきらめない。選手権に敗れた悔しさを胸に最後まで食い下がった。プロ入り(巨人)が決まっている。

| | | |
|-------|------|-------|
| 東北福祉大 | 10-0 | 愛知学院大 |
| ▽準決勝 | | |
| 東北福祉大 | 5-2 | 早稲田大 |
| ▽決勝 | | |
| 東北福祉大 | 0-1 | 0-1 |
| 130 | 000 | 01x |
| 亜細亜大学 | | 5 |

惜しい！日本一へあと一歩

インカレバレー

バレーボールの第55回秩父宮・第49回秩父宮賜杯・妃賜杯全日本大学選手権大会が十二月、東京体育館ほかで開催。男子121、女子114の史上最多チームが参加した。六年ぶり四度目の決勝進出を果たした本学女子だが、六年ぶり二度目の優勝はならなかった。決勝戦の晴れ舞台。第1セットは奪われたが、第2セットは前半から終始リードを奪った。ところが、突き放せない。ジワリと追い上げられ結局、落としてしまった。第3セットもいいところまではいくが、最後は寄り切られた。

| | | |
|-------|----|-----|
| 東北福祉大 | 0 | 23 |
| 25 | 30 | 32 |
| 27 | | 3 |
| | | 筑波大 |

小林辰洋君が内閣官房長官賞に 全国で12人、関東以北でただ1人

平成十四年度善行青少年に社会福祉学科四年の小林辰洋君が選ばれ十一月二十五日、東京都千代田区永田町の総理大臣官邸で内閣官房長官賞を受賞した。選ばれたのは全国から十二人で、関東以北では小林君ただ一人だった。

小林君は茨城県鹿嶋市立鹿野中学校一年の時に、地元社会福祉協議会のボランティア講座に参加。以来、今日まで障害者が旅行する時の付き添いから、イベントの企画準備、手話サークルの設立と支援、自作手話テキストの提供まで、さまざまなボランティアに取り組んできた。これら一連の活動が評価され、受賞となった。



表彰状を手にする小林君

平成14年度学内懸賞論文授賞式

平成十四年度学内懸賞論文の審査結果がまとまり、十二月十二日、本学学長室で授賞式が行われた。応募者は第一部門「我らの自画像」私の現代若者論」に三人、第二部門「グローバル化と日本」二十一人、第三部門「展覧」に一人、で、学長賞には該当者がいなかった。

第一部門で優秀賞を受賞した伊東幸子さん(社教四年)はテーマを「福祉大はレジャーランド化しているか」に設定。学内をマイクとレコーダーを手に歩き、学生三十人に無差別インタビューを試みた。結果は「資格取得」に前向きな本学学生の姿勢が浮き彫りになったという。佳作に佐々木道義くん(産福三年)、佐藤美由紀さん(社教三年)、第二部門で酒井美奈さん(社福二年)が選ばれた。

学生部の高橋美由紀部長は「応募数が少ないのは残念。もったくさんの学生に参加してほしい」と、学生の奮起を呼びかけた。審査は高橋部長が委員長、各学科長が委員となり、学長賞(賞金十万円)、優秀賞(同五万円)、佳作(記念品)が選ばれる。

型絵染講習会

「型絵染の巨匠 芹沢銈介展」開催中の十月六日から三日間、土手武彦・千鶴子夫妻を講師に迎えた、型絵染講習会が芹沢銈介美術工芸館で催された。先着二十人のところ希望者が殺到、キャンセル待ちが出るほどの人気を呼んだ。

土手さんは芹沢銈介先生直々の弟子。昨年開催された英国エディンバラ展でもロイヤル・ミュージアム(スコットランド王位博物館)で五日間の講習会を開いており、今回はその再現でもあった。三日間で三種類の作品を仕上げた。初日は五人一組になり、麻の生地糊(のり)をつける体験から開始。日本の伝統的な古代草模様の型紙を用いて、テーブルクロスを染めた。

二日目は色さし体験。紅型(びんがた)は、芹沢銈介先生に大きな影響を与えた沖繩の染色技法。その紅型を手本にして色さしを行った。朱、えんじ、緑、黄、紫など思い思いにさし、紅型特有の隈取(くまどり)を入れて完成。最終日は型彫り体験。銈介先生デザインの梅の模様をなぞって自分で型を彫り、彫った型紙をはがきの上に乗せ、直接色を刷り込んだ。この技法は合羽刷と呼ばれ銈介先生が初期の私本に用いていた。一連の工程に参加者は目を輝かして取り組んだ。作業後の感想として「実体験ができた機会に感謝」、「ぜひ、また参加したい」といった声が多かった。



地染めの手本を示す土手さん

型絵染を体験した参加者は今後、作品を観賞する際に新たな楽しみ方、発見を味わうに違いない。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

| 年 | 2003年 | | | 2004年 |
|------|------------------|---------------------|--------------------|--------------------|
| 月 | 1月20日(月)~4月4日(金) | 4月28日(月)~7月31日(木) | 9月18日(木)~12月18日(木) | 1月20日(火)~4月9日(金) |
| 展示内容 | 芹沢銈介型絵染小品 | 芹沢銈介コレクション 日本の藍染 | 芹沢銈介ののれん | 芹沢銈介美術工芸館 所蔵名品展 |

開館時間 10:00~16:30 (入館は16:00まで)
休館日 展示替え期間、創立記念日(9/25)・入試期間
入館料 一般300円、大高生200円、小中生100円
〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号
東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318
FAX 022-717-3324

キャンパス便り



あいさつする大竹部長

盛大に合同祝勝会 ゴルフ部と硬式野球部

ゴルフ部と硬式野球部の活躍をたたえる合同祝勝会が十二月四日、仙台国際ホテルで行われた。関係者ら約五百人が参加し、両部の部長を兼ねる大竹榮総務局長が「元気の震源地として日本を引っ張って行こう」と力強く誓った。今季、ゴルフ部は春の全日本大学選手権でアベック優勝、秋の信夫杯では男子優勝、女子準優勝を飾った。個人でも宮里主将が日本学生選手権で三連覇を達成。野球部は秋の明治神宮で準優勝した。

